

## 秋田港整備促進 国及び県への要望

4月20日、齊藤会長、大島副会長、児玉副会長、鈴木副会長が、国土交通省東北整備局秋田港湾事務所と秋田県建設部を訪問し、秋田港整備促進を要望する予定でした。

ところが、訪問日間近の4月16日、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が全国に拡大されたため、やむなく訪問を取りやめ、郵送等により要望書を提出しました。

同要望書では、秋田港が環日本海の交流拠点として一層の発展するよう、貿易の拡大のための利便性の向上はもとより、シーアンドレール構想の推進、防災拠点、エネルギー基地など、総合的な拠点機能を有する港湾としての整備とともに、令和11年度完成を予定し整備事業が開始された秋田港アクセス道路の早期整備についても要望しています。



## 専門アドバイザーのご紹介

皆様こんにちは。

専門アドバイザーとしてお世話になります鈴木さなえと申します。

生まれは能代市で、中学生の頃父親の仕事の関係で中国からの農業研修生と交流する機会があったことから、中国に興味を持つようになりました。中国には留学(上海、ハルビン、北京)と仕事(北京)で計27年滞在。仕事はフリーでの通訳・翻訳業を経て、その後「中国にいる“秋田県人”として、もっと秋田と繋がりのある仕事を！」と考えるようになり、会社「北京中秋共創商貿有限公司(中国と秋田で共に明るい未来を創造する)」を設立し、主に県産酒の輸入販売に取り組みました。

中国滞在歴27年の経験と語学力を活かし、皆様方の対中国語圏(主に中国、台湾)事業において、少しでもお役に立てるのであれば嬉しく思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



秋田県貿易促進協会  
専門アドバイザー 鈴木さなえ

専門地域：中国・台湾  
専門分野：食品・日本酒など



## 令和2年度定時総会開催 第2回理事会において役員を選任

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、その実施には十分な感染防止策を講じたうえで、6月26日、秋田ビューホテルにおいて、会員20名(ほかに委任状提出117名)出席のもと、令和2年度の定時総会が開催されました。開会に当たり齊藤会長は、会員、関係機関等への日頃の感謝とともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小しての開催となったことを報告のうえ、今年度も行政および関係機関との連携強化のもと、この感染症の影響を注視しつつ、可能な限り事業計画にもとづき積極的に取り組むとの決意を述べました。

その後、議案審議に移り、令和元年度の事業報告と決算報告、令和2年度の事業計画と予算、理事監事の選任、参与委嘱の同意の6議案は、出席者の賛同を得て、満場一致で承認されました。この決議にもとづき、新型コロナウイルス感染症の収束後には、速やかに事業実施できるよう準備を進めていきます。



また、定時総会終了後、理事会が開かれ、任期満了にともなう役員を選任が審議されました。現体制の維持を求める発言があり、齊藤健悦会長、大島紳司副会長、児玉修副会長、鈴木稔副会長の再任と、水澤聡専務理事の新任が満場一致で承認されました。

なお、例年行われていた情報交換、相互交流の場としての懇親会は、この時勢を受けて中止としています。

## 会長就任のご挨拶

皆様のご支持により、6月26日開催された定時総会後の理事会において会長に再任されました。

これまでの5期10年の経験を活かし、皆様のご期待に添えるよう、決意を新たに全力で取り組む所存ですので、引き続き県、市町村をはじめとする関係機関の皆様のご支援、会員の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、各国で外出や出入国制限、営業や生産活動の停止措置などの感染拡大防止措置が取られた結果、社会経済活動が制約され、我が国を含む世界経済は急速に落ち込んでいます。

県内企業の海外取引は、米中貿易

摩擦という不安定要因がある中でも、中国や成長著しい東南アジアとの経済交流が活発に行われるなど、堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、諸外国との往来が制限され、事業活動の停滞が懸念されます。

このような状況の中ですが、人口減少が続く本県においては、積極的に海外へ市場を求めていくことが経済の発展に必要であり、海外取引の拡大や海外展開を目指す企業を支援する当協会の役割は、今後ますます大きくなるものと考えています。

新型コロナウイルス感染症による一時的な影響に必要以上に目を奪われることなく、収束後を見据え、本県と海外との間の貿易促進に積極的



一般社団法人秋田県貿易促進協会  
会長 齊藤 健悦

に取り組んでまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

終わりに、会員企業の皆様のますますのご発展を祈念するとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、私の就任のあいさつといたします。

# 令和元年度事業報告

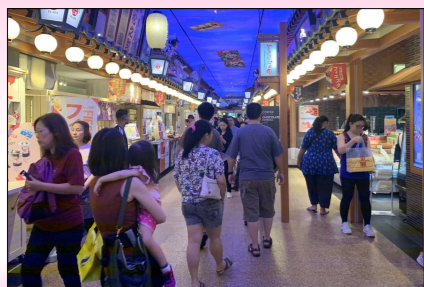
令和元年度は、国、県の動きと歩調を合わせ、事業計画にもとづき、貿易取引の拡大促進、貿易支援体制の強化、貿易相談と普及啓発活動、組織運営と関係機関連携を柱として、会員はじめ県内企業をサポートし、秋田県の貿易促進に向けた施策を実施してきました。

## シンガポールバイヤー招聘



シンガポールおよびマレーシアで75店舗を展開するレストラングループのシェフを招聘し、県内の酒蔵3社を紹介しました。バイヤーからはどの酒蔵も特徴的で魅力があると評価されました。日本酒以外の商品では、水産品や味噌などの食材や加工食品などについて商談を行い、試験的な輸出に繋がりました。  
実施日：4月22日～23日

## シンガポールフェア



シンガポールにおける秋田県産食品の販路拡大のため、現地のレストラン等においてフェアを開催しました。日本酒をメインに、県内4蔵元の6銘柄を1ヶ月間、特別メニューとして提供しました。また、レストランフェア開催に合わせ、農産物や加工食品などのテスト販売も実施しました。  
実施日：11月1日～30日

## 秋田市受託事業 ベトナム市場調査



ベトナム・ホーチミンにおいて、ベトナム人材の日本への就業状況、日本食品の販売動向等の把握のため、また、秋田産食品の販路開拓・拡大のため、現地教育機関や日系商社などを訪問し、調査を行いました。  
実施日：11月14日～20日

## ベトナム経済交流ミッション



ベトナム・ハノイおよびヴィンフック省に向けて経済交流ミッションを派遣し、農園や工場を視察したほか、現地に進出している日系企業を訪問しました。ヴィンフック省では、現地企業協会と相互の経済交流に関する覚書を締結しました。  
実施日：11月19日～23日

## 県内商社輸出促進応援事業(ロシア)



ロシアで多種多様なレストランチェーンを展開している現地企業を招聘し、米の集荷・精米施設のほか、日本酒、醤油・味噌、豆腐、納豆などの発酵食品の製造工場を視察しました

実施日：11月28日～29日

## 秋田市受託事業 インドネシア市場調査



インドネシア・ジャカルタ現地の嗜好や、日本製品の展開状況を把握するための市場調査を行いました。同時に秋田産品の輸出や、コーヒー豆等の現地産品の輸入に関する商談を実施しました。

実施日：2月10日～15日

## 秋田県受託事業 北米バイヤー招聘



カリフォルニア州を中心に展開している日本食品の現地スーパーマーケットチェーンに販路を持つ国内商社を招聘し、加工食品について商談を行ったほか、海外展開に向けたアドバイスをを行いました。

実施日：2月27日～29日

## 令和2年度に実施を予定している主な事業

### 秋田県産品輸出促進事業

- ・シンガポールバイヤー招聘(9月予定)  
当協会が持つシンガポールとのネットワークを活用してバイヤーを招聘し、県内で商談会を実施します。
- ・台湾バイヤー招聘フォローアップ(第3四半期予定)  
令和元年10月に来県した台湾バイヤーが、現地で開催する展示会に出展する県内企業をサポートします。

### 経済交流支援事業

- ・ベトナム経済交流(第2～3四半期予定)  
令和元年11月にベトナムヴィンフック省企業協会と締結した「経済交流に関する覚書」にもとづき、ベトナムへの販路拡大を促進します。

### 有望県産品輸出促進事業

- 【県商業貿易課、ジェトロ秋田との連携事業】
- ・米国プロモーション活動(9月～12月予定)  
日本酒最大の輸出相手国・米国において秋田の日本酒のブランド確立を目指し、県内外での勉強会、セミナー等を開催します。
- ・越境EC(電子商取引)活用(第3四半期予定)  
ジェトロが海外ECサイトと連携して取り組んでいる「ジャパンモール事業」を活用した県産品販路開拓を支援します。

なお、本年度予定している事業内容は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、適時変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

令和元年度の事業報告、決算報告および今年度の事業計画、予算については平成2年度定時総会資料をご覧ください。当協会のホームページからもダウンロード可能です。